



横代中だより

『凡事徹底(ぼんじてってい)』
 ～当たり前のことを
 人にはまねできないほど、
 一生懸命取り組む!～

<横代校区生活ルール>

- ① 進んであいさつしよう
- ② 時間を守ろう
- ③ 自分やみんなを大切にしよう

<横代校区学習ルール>

- ① 話をしっかり聞こう
- ② 学習の準備をきちんとしよう
- ③ 正しい姿勢で学習しよう

🏠 令和8年度高等学校入試日程について 🏠

来年度の福岡県公立高校と私立高校の入試日程が公表されました。下の表をご覧ください。

◇主な高等学校入試日程◇

試験区分	公立高校	私立高校(北九州地区)
推薦・特色化選抜	試験日2月3日(火)、4日(水) ⇒ 内定発表 2月9日(月)	試験日 1月27日(火) ⇒ 合格発表 1月30日(金) ※特色化選抜の入試方式はありません。
一般	試験日 3月10日(火)、11日(水) ⇒ 合格発表 3月19日(木)	2月5日(木) 常磐・希望ヶ丘・東筑紫・高陵折尾愛真 2月6日(金) 星琳・豊国・慶成・仰星・九国明治学園※新規来年度募集から 2月9日(月) 美萩野、西南、真颯館、敬愛自由ヶ丘 ⇒ 合格発表 2月17日(火)
補充募集	試験日 3月26日(木) ⇒ 合格発表 3月30日(月)	

👤 よこしろ防災チャレンジについて 👤

5月31日(土)に地域、保護者の方々のご協力より今年も「防災チャレンジ」が実施できました。目的は、災害にあった時の「自分の命は自分で守る力」と「実際に行動できる力」を付けることです。当日は、小学校と合同で8つのプログラムに分かれて活動しました。校区の危険な箇所(かしよ)を知り、避難所で自分ができる生活の工夫など、様々な防災の知恵を学ぶことができました。「よこしろ防災チャレンジ」は、小中9年間の貴重な学習の機会です。地域の皆様には、子どもたちため、毎年貴重な学びの場をつくっていただき、感謝の気持ち一杯です。梅雨時期や台風シーズンを前に貴重な防災、減災の実践を今年も積むことができました。

🏀🏆🎯🎾🏐🏸 部活動激励会について 🏀🏆🎯🎾🏐🏸

6月20日(金)に本校体育館で、中学校体育連盟夏季大会に向け、「部活動激励会」が開かれました。各部活動の代表が「あきらめることなく、市内大会を目指す」「県大会出場を目指す」「3年間の練習の成果を出し切る」など大会に向けての意気込みを述べました。また、生徒会長からは、「日々の練習の成果を発揮し、自分と仲間を信じ、最後まで戦ってください」と激励の言葉がありました。

📰 NIE(教育に新聞を)活動について 📰

横代中学校は、令和6、7年度北九州市教育委員会の推薦を受けて、日本新聞協会のNIE(教育に新聞を)推進事業の実践指定校として参加しています。特典として5社の新聞が5、6の2か月間購読でき、玄関の新聞コーナーに置きました。また、新聞を活用した特別活動の授業を6、7月に実施しました。今年は、西日本新聞のこどもふれあい本部の出前授業を依頼し、1、2年生が受講できました。3年生は日程が合わず出前授業はできませんでした。

◆ NIE 特設授業について ◆

「1年生」 6月25日(水)6校時 西日本新聞の [] 記者が出前授業の講師として、「新聞記者の仕事」をテーマに話してくれました。 [] さんは記者歴44年で、若いころに事件記者として深夜遅くまで記事を書いた話やプロ野球の番記者としてプロ野球選手に密着し取材することで、日頃から記事ネタをため込んでおいて、締め切りに間に合わせる技、そして、新聞記者になるきっかけが中学1年に書いて文章が新聞記事になり、原稿料をもらったという話など長年の職業人としてのキャリアに基づいた話で興味深く聞くことができました。途中5分間の休憩では、子どもたち全員に配られたその日の朝刊を真剣に見入っていました。最後は、「いっしょに読もう!新聞コンクール」の書くコツについてご指導いただきました。受講者を代表して2組の [] さんが、「記者の1日、仕事のやり甲斐、新聞のもろもろを楽しく学ぶことができました」とお礼の言葉を述べました。 [] 記者は、講話の端々に「やり甲斐のある仕事を見つけることが仕事を長く続けるコツ」と何度も話されていました。大切な教えだと印象に残りました。

「2年生」 6月30日(月)5校時 1組が西日本新聞の [] 記者の出前授業を受けました。前半は、「いっしょに読もう!新聞コンクール」に応募にあたって、新聞についての「いろは」を教えていただきました。後半は、その日の朝刊で興味のある新聞記事を個々に見つけ、グループで「なぜ、その新聞記事が気になったのか」、その理由を意見交流しました。 [] 記者からは、「同じ日の新聞でもその人によって、興味をもつ記事は違う。人によって関心や意見は多様であって当たり前、世の中多様であることを新聞で知ってほしい」と繰り返し訴えていました。世の中の多様な話題を嘘偽(うそいつわ)りなく提供してくれるのが新聞の良さです。6校時は、2年生全員が1年生と同じく、 [] 記者の出前授業を受けることができました。

「3年生」 7月4日(月)6校時 校長がNIEの授業をしました。前半は、「受験は怖くない、新聞を読むことが受験にも役立つ」をテーマに受験に向かう心構えの話をしました。後半は、「いっしょに読もう!新聞コンクール」の取組で、まずはその日の西日本新聞の朝刊をじっくりと読みました。生徒が新聞に直接触れることで、新聞の良さを知ってもらえると嬉しいです。横代中は西日本新聞を取っています。ぜひ、毎日読んでみてください。とくに一面のコラムがおすすめです。

●● 8月行事予定 ●●

8月12日(火)～15日(金)
学校閉庁日
26日(火)2学期始業式
27日(水)課題テスト、給食開始

📎 定期考査の日程変更について 📎

今年度、業務改善の視点から一学期の期末考査の日程を変更して実施してみました。その反省から2学期以降の定期考査を以下の通り実施します。変更になり、申し訳ありません。

	年間予定	変更後
2学期中間考査	9月16日(火)、17日(水)	9月17日(水)、18日(木)
2学期期末考査	11月17日(月)、18日(火)、19日(水)	変更なし
3学期学年末考査	2月17日(火)、18日(水)、19日(木)	2月18日(水)、19日(木)、20日(金)

校長のひとりごと ～長嶋茂雄とサザンオールスターズ～

6月3日に昭和を代表するスターで、プロ野球選手、そして、監督でもあった長嶋茂雄氏が亡くなりました。長嶋さんはプロ野球を「興行(こうぎょう)」と捉え、球場に足を運んでくれたファンにとにかく楽しんでもらいたいということを信条としていました。ですからそのプレーにも、監督になってからの英語を交えた談話にも華(はな)がありました。その昭和の大スターに負けず劣らずのミュージック界でファンの心をとらえて離さないスターが桑田佳祐氏です。天才は天才を知るの言葉通り、桑田氏はサザンオールスターズのアルバム「葡萄(ぶどう)」の中で「栄光の男」という曲を発表しています。その栄光の男とは、長嶋さんのことで、長嶋さんをテーマにした曲です。その曲の中に、「生まれ変わってみても 栄光の男にやなれない 鬼が行き交う世間 渡り切るのが精一杯」とあります。スターと認めた人を見る庶民の気持ちがよく表れている歌詞です。昭和の時代、仰ぎ見るようなスターが存在しました。スターとは、別世界の空気を吸って生きている人だと子ども心に思ったものです。引退試合のセレモニーで長嶋さんは、「巨人軍は永遠に不滅です」と語りました。いつかは亡くなる日が来るのは仕方がないことですが、寂しい限りです。皆さんにとって今、長嶋さんのようなスターがいますか、いれば心の中に大事にしまっておきましょう。きっと貴方にそのスターは生きる勇気を与え続けてくれるはずですから。合掌。 『夜空見て 華ある星に 手を合わす』